

日刊 労働千葉

81.12.28
No. 932

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五～六（公衆）（留吉）二七二〇七

警察労働運動に墜落した「本部」土屋一 を追放し、貨物職場をわが手で守る

「全員の力で前進・勝利してきた
この二年間」
堀口支部長あいさつ

12月23日十二時すぎより労働千葉佐倉支部大会が佐倉機関区講習室において開催されました。能勢執行委員の力強い開会宣言に続いて、議長に小川信雄氏（検査係）を選出して、議事が進められました。

あいさつに立った堀口支部長は「佐倉支部結成後二年にならんとしている。私達が労働千葉に結集し、この間いろいろ闘いをし、勝利してきた。81・3闘争を闘いぬいてきた力にふまえ、情況はきびしいが、検修民託阻止を佐倉挙げて闘っていかなければならぬ。同時に労働『本部』土屋一派の『6・12』告訴を許さず、絶対勝利していかなければならない。自分は支部長としてその先頭に立つ」と力強くあいさつを行いました。

「労働運動の本分を貫く戦いが
勝利をきりひらいた」
関川委員長が激励

来賓は、千葉本部・関川委員長、西森乗務員会長、森内特別執行委員、三里塚反対同盟石毛常吉

さらなる団結強化にむけ
職場に根ざしたサークル活動強化を

労働千葉サークル協第四回総会は、12月17日、13時過ぎより、動力車会館において各支部代議員及び各連盟代議員約二五名が出席して開催されました。

第4回サークル協総会 開かる

サークル協新役員

議長	関川 宰（本部）
事務局次長	林 熊吉（"）
事務局長	三浦久吉（"）
運営委員	篠塚 寧（幕張・囲碁・将棋連盟）
"	大岩定雄（新小岩・スポーツ連盟）
"	大木良夫（成田・美術連盟）
"	後藤 明（"・園芸連盟）
"	行方富士夫（津田沼・娯楽連盟）
"	吉野英孝（館山）
会計監査員	宮崎志美男（幕張）

12/23 佐倉支部大会

氏が参加されました。

関川委員長は、「佐倉支部も第四回大会を迎えた。当初、佐倉は『本部』革マルと密通した山下（注）、土屋幹の分裂策動によって困難を味わったが、しかし、堀口支部長をはじめ、未経験ではあっても、本心に労働者の本分をつらぬこうとする人達で労働千葉をつくってがんばってこられた。来年の事に感謝したい。三信ビルの連中は、年末・年始の交渉で千葉管内の各支部の作業実態すら知らず、自分たちのエゴだけで当局にすがりついていて、笑いのものになっている。こういう連中が真に組合員の利益を代表できるはずがない。三万人体制や労働『統一』攻撃を、三里塚二期攻撃粉砕をもって、うちくだいていこう」と激励しました。

軍事空港反対・二期着工阻止！
労働連帯で闘う！
三里塚反対同盟・石毛氏あいさつ

続いて、あいさつに立った三里塚反対同盟石毛常吉氏は、「私たちは、日本の現状にふまえ、軍事空港である成田空港を絶対に作らせない。いよいよ来年度成田開通予算が三二〇億円計上された。二期着工の前ぶれである。防衛予算が大巾に増加された。私は二度と戦争にはならないと確信している。この間の労働千葉の皆さんの支援に心からお礼申し上げると共に、今後とも共に闘っていきたい」とのべられました。

その後、運動方針、予算案を承認し、新執行部を選出したのち、堀口支部長の力強い団結ガンバリをもって十六時大会は成功裡に終了しました。

佐倉支部新役員

執行委員長	堀口 太一	51才	機関士
副委員長	能勢 明彦	37才	検査係
書記 長	今関喜代司	36才	機関士
執行委員	平山 光夫	53才	"
"	宮内 正志	33才	"
"	内山 茂雄	24才	"
"	小川 鼎之輔	38才	検査係
"	和田 義明	41才	"
"	田中 龍美	29才	検修係
"	小出 実	22才	事務掛